

日本機械学会バイオエンジニアリング部門
第97期第3回 運営委員会 議事録

日時：2019年9月9日（月）12:00～13:50

場所：秋田大学 2019年度 年次大会会場（理工学部1号館 会議室5）

出席者：玉川 雅章（部門長）、片岡 則之（副部門長）、石川 拓司（部門幹事、国際ジャーナル委員長）、長山 和亮（企画委員長）、出口 真次（国際委員長）、太田 信（広報委員長）、大森 俊宏（次世代委員長）、坂本 二郎（BE32 講演会組織委員長）、牛田 多加志（BE33 講演会組織委員長）、藏田 耕作（総務幹事）、ニックス ステファニー（年次大会2019担当）、前田 英次郎（年次大会2020担当）、田地川 勉（企画幹事）、氏原 嘉洋（次世代幹事）内藤 尚、岩崎 清隆、佐久間 淳、中島 雄太、前川 純、松本 貴彦

欠席者：山西 陽子（総務委員長）、村越 道生（BF30 講演会組織委員長）、小林 俊一（BF31 講演会組織委員長）、世良 俊博（広報幹事）、白石 俊彦（国際幹事）、須藤 亮（国際ジャーナル幹事）、古川 克子（BE33 講演会幹事）、茅原 崇徳（BE32 講演会幹事）、大橋 俊朗、中俣 孝昭、仰木 裕嗣、上村 拓也、速水 則行、安井 武史、信藤 康孝

アドバイザー出席者：田中 正夫、松本 健郎、和田 成生、安達 泰治

[資料]

- 97-3-00 第97期第3回運営委員会 議案
- 97-3-01 第97期第2回運営委員会 議事録（案）
- 97-3-02 第98期副部門長選挙スケジュール
- 97-3-03 今後の表彰ルールについて
- 97-3-04 過去の年鑑執筆者
- 97-3-05 標準事業委員会 学会基準テーマの募集
- 97-3-06 部門賞（功績賞、業績賞、瀬口賞）募集案内
- 97-3-07 第32回バイオエンジニアリング講演会

[審議・承認事項]

1. 部門運営・構成関係

- (1) 第97期第2回運営委員会 議事録（案）[資料97-3-01]
変更なく承認された。
- (2) リマインド：次期（98期）副部門長選挙について [山西総務委員長] [資料97-3-02]
提案のスケジュール通り実施することとした。
- (3) BF講演会（霧島）の若手優秀講演フェロー賞について [山西総務委員長]
柴田 司真（熊本大学）、竹中 峻（大阪大学）
- (4) 今後の表彰ルールについて [山西総務委員長] [資料97-3-03]
26歳以下との表記は不正確であるため、学会の規定に沿うよう資料が訂正された。
Outstanding Poster 表彰は必ずしもフェロー賞表彰と一致しなくてよい。
BE33における表彰は、牛田組織委員長に一任する。
- (5) 年鑑執筆者推薦 [石川部門幹事] [資料97-3-04]
「スポーツ工学」のカテゴリー名はSHD部門のキーワードと重複するため、修正することとした。
「スポーツバイオメカニクス」や「ヘルスケア」などのカテゴリー名の候補が挙がり、検討することとした。
- (6) 継続審議：標準事業委員会 [玉川部門長] [資料97-3-05]
前回審議の内容：学会基準テーマの募集に関して、バイオにおける標準化の提案や講演を通じ、特に企業会員から見て魅力ある部門活動とするため、部門での対応委員会（仮称：標準事業活性化委員会）設置の提案があった。

また、この委員会を部門委員会の現存の委員会の元に設置することや、太田先生（東北大）、岩崎先生（早大）などを中心に委員会を構成することも提案され、審議の結果、承認された。なお、詳細の検討は継続審議となった。

今年度の申請は見送ったが、企画委員会の下に標準事業活性化委員会を設置し、今後も組織的に検討することにした。太田委員長から、標準化に関する情報共有したい、企業の方の参画を促したいとの発言があった。

(7) 継続審議：部門運営について [玉川部門長]

前回審議の内容：

登録順位4～5位の講演会への参加促進：部門講演会、年次大会で合同セッション

シニアアドバイザーボードの役割：シニアアドバイザーやシニアの先生方には、ニュースレターの原稿依頼をする。部門講演会にご招待してはどうか。関連、近場の大学で開催される場合には連絡。シニア料金を設ける提案があったが（他部門ではすでに実施）、無料や安い料金にするのは反対意見もあった。シニアアドバイザーには部門のまとめ情報をお送りする。

企業会員の増強：企業の会員に企画委員に入って頂く（業務が不明なので、企画委員長と調整のうえ）一般会員への情報発信を積極的に行う。

標準事業活性化委員会への参加を企業委員に検討していただくことにした。企業との連携が不十分な現状を打破するため、意見交換の場を開催するのがよいとの意見があった。企業から見た場合、部門講演会を土日に開催するのは好ましくないとの意見があった。

(8) ニュースレターの発刊時期について [太田広報委員長]

太田委員長から、今年度のニュースレターを無事に発刊した報告と、執筆協力に対する謝辞があった。

次年度は講演会のスケジュールが変更になるが、ニュースレターの発刊スケジュールはこれまで通り9月発刊とすることとした。

2. 部門関連行事

(1) 2019年度年次大会 [長山 企画委員長/ニックス 年次大会2019 担当]

日 程：2019年9月8日（日）～11日（水）

会 場：秋田大学

今年からポスター発表などの新たな取り組みが始まった。意見は長山委員長に集約することにした。

(2) 第32回バイオエンジニアリング講演会 [坂本 BE32 講演会組織委員長] [資料97-3-07]

日 程：2019年12月20日（金）～21日（土）

会 場：金沢商工会議所会館

実行委員長：坂本二郎（金沢大）

幹 事：茅原崇徳（金沢大）

坂本組織委員長から資料を用いた説明があり、実施案が承認された。

会場は金沢商工会議所会館にて、予算の収入に特定事業資金100万円を追加する資料の修正があった。

(3) バイオサロン [長山企画委員長]

開催日：2019年12月19日14:30-16:00

(4) 第33回バイオエンジニアリング講演会 [牛田 BE33 講演会組織委員長]

日 程：2020年4月25日（土）～26日（日）

開催地：本郷キャンパス工学部2号館

形 式：シンポジウム形式（学生はポスター発表）

実行委員長：牛田多加志（東大）

幹 事：古川克子（東大）

プログラム委員会立ち上げ、第1回委員会を7月19日に実施

抄録はA4半ページ。Outstanding Poster 表彰を行う。

(5) 2020年度年次大会 [長山企画委員長/前田 年次大会2020 担当]

大会キャッチフレーズ：「人・モノ・未来をつなぐ機械工学」

大会テーマ：「Society 5.0 を支えるイノベーション」

「人・生物・機械の持続的調和社会の実現」
「超少子高齢社会を豊かにする次世代技術」

会期：2020年9月13日（日）～16日（木）

会場：名古屋大学 東山キャンパス（名古屋市千種区不老町）

部門横断・他学会との連携など、横断的・融合的な OS を募集

学生の発表は原則的にポスターセッションに集約

・OS 回答書 BE 部門内締切 9月30日（月）

・特別企画回答書 BE 部門内締切 12月13日（月）

KSME との合同企画を年次大会で実施することも検討する。

今回の年次大会で気付いた点があれば、委員まで知らせて欲しいとの依頼があった。

(6) 第31回バイオフロンティア講演会 [小林 BF31 講演会組織委員長]

日 程：2020年12月12日（土）～13日（日）

開催地：信州大学繊維学部（長野県上田市常田3-15-1）

形 式：従来通り（学生も口頭発表）

実行委員長：小林俊一（信州大）

幹 事：中楯浩康（信州大）

出藍会の企画も実施する予定

(7) Japan-Swiss WS on Biomechanics 2020

大橋俊朗先生を中心に日本で開催予定

(8) Asian Pacific Conference on Biomechanics 2021

安達泰治先生を中心に日本で開催予定

(9) その他

3. 共催・協賛・後援行事

(1) Asian Pacific Conference on Biomechanics 2019 [松本 APAB President]

日 程：2019年11月1日（金）～3日（日）

場 所：台北

(2) 2020 Summer Biomechanics, Bioengineering, and Biotransport Conference (SB3C)

日 程：2022年6月

場 所：Colorado, USA

本会に協賛依頼がきている。坂元尚哉先生を窓口、国際委員会と連携して対応することとした。

日本からの参加者が減り気味であるが、学生の Competition などがあり有益であるとの情報提供があった。

(3) 9th World Congress on Biomechanics 2022

日 程：2022年7月

場 所：台北

[報告事項]

1. 部門運営関係

(1) 学会賞（日本機械学会賞、奨励賞、教育賞）推薦 [片岡副部門長、山西総務委員長]

締切：2019年8月9日

学会賞（論文）10件、奨励賞（研究）4件、標準事業表彰1件を推薦した。

(2) 部門賞（功績賞、業績賞、瀬口賞）募集案内 [山西総務委員長] [資料 97-3-06]

募集締切：2019年12月20日(金)

(3) 平成32年度文部科学大臣表彰「若手科学者賞」推薦について [片岡副部門長、山西総務委員長]

2. 部門関連行事

- (1) Bioengineering Hackathon in 生体医工学サマースクール 2019 [長山企画委員長]
テーマ：「生体医工学で健やかな生活を」
日時：2019年8月27日(火)～28日(水)
場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス(滋賀県草津市野路東1-1-1)
- (2) LIFE2019(日本機械学会福祉工学シンポジウム2019, 第35回ライフサポート学会大会, 第19回日本生活支援工学会大会)[長山企画委員長]
日時：2019年9月12日(木)～14日(土)
場所：慶應義塾大学・日吉キャンパス(神奈川県横浜市港北区)
BE部門担当となるのは2022年の予定

3. 各種委員会等活動報告

- (1) 企画委員会 [長山企画委員長]
報告事項なし
- (2) 総務委員会 [山西総務委員長]
報告事項なし
- (3) 広報委員会 [太田広報委員長]
報告事項なし
- (4) 国際委員会 [出口国際委員長]
報告事項なし
- (5) 若手による次世代戦略委員会 [大森次世代委員長]
BF30で開催した企画が成功裏に終わったとの報告があった。部門に対する若手からの意見として、講演会での服装をノーネクタイにしてはとの提案があった。牛田組織委員長から、BE33では服装について明記する予定との説明があった。次世代委員会の活動について意見がある場合には、石川幹事に知らせて欲しいとの依頼があった。
- (6) JBSE 編集委員会 [石川国際ジャーナル委員長, 須藤幹事]
JBSEのインパクトファクター取得に向けた議論があった。JBSEへの投稿と、掲載論文の引用の依頼があった。

[その他]

- (1) 第97期運営委員会開催予定について [石川部門幹事]
第4回 バイオエンジニアリング講演会 2019年12月20日～21日 金沢商工会議所会館
12月19日 10:00～12:00 幹事会
12月19日 12:00～14:00 運営委員会
12月19日 14:30～16:00 バイオサロン
- (2) その他
和田成生先生から、書籍「生体機械工学」の準備状況の説明があり、該当者に執筆依頼があった。

以上